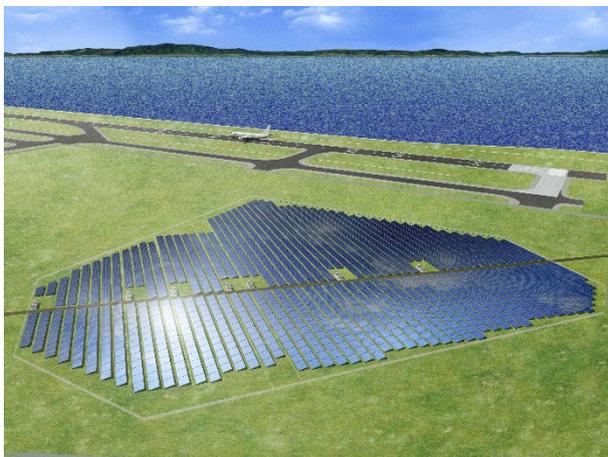


関西エアポートと国内最大級のオンサイト型 PPA を締結

～関西国際空港と大阪国際空港で計約 23.4MW の太陽光発電事業～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、このたび、関西エアポート株式会社（本社：大阪府泉佐野市、社長：山谷 佳之）と PPA（電力購入契約）を締結しましたのでお知らせします。関西国際空港および大阪国際空港に、オンサイト型として国内最大級^{※1}となる約 23.4MW の太陽光発電施設を設置し、2025 年春よりオリックスが各空港へ電力を供給します。



関西国際空港 太陽光発電設備設置イメージ図



大阪国際空港 太陽光発電設備設置イメージ図

本事業では、オリックスの設立する SPC が発電事業者となり、関西国際空港に約 22.8MW、大阪国際空港に約 0.6MW、計約 23.4MW の太陽光発電システムを設置・運営します。発電した電力を各空港内で自家消費することで、関西エアポートグループは年間消費電力のうち約 20%を賄い、年間 CO₂ 排出量を約 12,300t-CO₂削減する見込みです。

オリックスは、国内で約 950MW の再生可能エネルギー発電事業を展開しており、太陽光発電は地上設置型で約 100 カ所、屋根設置型で約 300 カ所を所有・運営^{※2}しています。現在は、電力需要家の敷地や屋根などを借り受けて太陽光発電システムを設置し発電した電力を需要家に供給するコーポレート PPA 取組を推進しています。

オリックスは、今後も 2050 年カーボンニュートラル実現にむけて、再エネの主力電源化に向けた取り組みを推進し、持続可能な社会を実現してまいります。

※1 当社調べ

※2 2023 年 9 月 30 日時点

以上

<報道関係者からのお問い合わせ先>
オリックス株式会社 グループ広報・渉外部
TEL : 03-3435-3167

■設備概要

対象施設	関西国際空港	大阪国際空港
所在地	大阪府泉佐野市泉州空港北 1	大阪府豊中市蛍池西町 3-555
設置場所	2 期島北側用地 国際貨物上屋屋根	ターミナルビル屋根
太陽光パネル設備容量	22,862kW (8 カ所合計)	557kW
太陽光パネル枚数	39,740 枚	960 枚
年間想定売電量 (初年度)	27,754MWh (一般家庭約 8,900 世帯分相当 ※3)	628MWh (一般家庭約 200 世帯分相当※ 3)
年間想定 CO ₂ 削減量	12,000t-CO ₂ (スギの木約 136.4 万本の吸収 量相当※4)	270t-CO ₂ (スギの木約 3.1 万本の吸収量 相当※4)

※3 一般家庭 1 世帯当たり約 3,120kWh/年で算出 (出典: 東京電力「平均モデルの電気料金」)

※4 36~40 年生のスギ人工林 (1 ヘクタールに 1,000 本の立木と仮定) が 1 年間に吸収する CO₂ 量を約 8.8t-CO₂ として換算。
(出典: [林野庁「森林はどのぐらいの量の二酸化炭素を吸収しているの？」](#))

2025 年 1 月 27 日付け訂正は以下の通りです。(注記※3)

正) 一般家庭約 8,900 世帯分相当 (出典: 東京電力の「平均モデルの電気料金」約 3,120kWh/年で算出)

誤) 一般家庭約 9,200 世帯分相当 (出典: 環境省「家庭でのエネルギー消費量について」)